

ハートコミュニケーション

# 栄八通信

第 7 号



武雄市議会議員  
発行者 宮本栄八  
武雄町野間 TEL・FAX23-0750  
発行部数 11,200部

① 4 7 10 月末発行

## 謹賀新年

### 私の見た

### 武雄市の

# 初夢

し尿処理場の入札を一般競争入札で行い二十五億円安くなる。

西部広域水道に多久市に加入してもらい、平成13年の50%値上げなくなる。

武雄温泉新館が市の協力で再建され、歴史資料館の分館になった。

保養村第三次計画が市民とともに作られ、一日中親子づれでにぎ合う。

各町で街づくりプランが作られ、市と協力して実行し定住人口増に。

<b>金</b>	<b>銀</b>	<b>梅</b>	<b>竹</b>	<b>松</b>
武雄の政治能力	本当の広域行政	資源の多面活用	市民の公園の要望	市の均衡ある発展

## 新春三景



# 市民への最大のお年玉は処理場入札

### 処理場入札の重要性

前回の特集で取り上げたし尿処理場建設の問題、鹿島市を中心とした鹿島・藤津衛生施設組合が、四十一億円の見積りに対し、膜処理方式の実績・前例主義の入札形態にこだわらず、事業への能力主義の入札形態を取ることに、実績業者の高値安定状況に競争原理を生み出し、武雄市の計画より大きい一〇K処理場を約十五億で入札したわけだ。これを武雄市もならば、登窯どころでなく、図書館の建設費ぐらいは一発で生まれてくる。

多分、武雄市政の四十数年の中で、市長や議員の方針決断で二十億円の節約ができることはなかったろうし、将来においても無いのではないかと思う。

### 私のその後の活動

私は、多くの人に実態を知っていただく事によって「高くても実績のある所なら心配いらん。」という、いわゆるお役所仕事の発想が、いかに非効率な行政運営となり、税金の無駄使いになっているかをお伝えしたかった。

また、知ってもらおうだけでなく市民から行政のチェックを付託された議員として、武雄市でも賢明な入札がされるよう頑張りたい。そこで、前回、手さぐりで調査した事を栄八通信に書いた。その後、この事業が山内と共同なので、山内町民にも知らせる必要があると思ひ、山内町議会議員に通信を渡した結果、山内町議会一般質問に取り上げられたようなので、一応効果はあったと思う。

### 処理能力と価格

その後、多くの人とこの問題を話す中で、日本鋼管は入札に入るために安くしてただけで、安いのは安いだけしかなく、安いのそのへんを解明というか、説明をしていくのは大変だと思っていた。

丁度そんな時、鹿島市議会事務局から、栄八通信と交換に送ってもらっている、かしま市議会だよりを見ていたら何と、鹿島藤津衛生施設組合議会報告が掲載されていた。その中に処理場の入札参加企業の名前と入札額が明記してあるのを見て、一瞬血圧が上がった。市民にここまで公表するとは、信念もつとると感心した。その内容は次のとおりである。

業者名	第1回
N K K	14億40百万円
栗田工業	15億80百万円
住友重機工業	16億90百万円
クボタ	17億80百万円
三菱重工業	18億30百万円
浅野工事	19億46百万円
荏原製作所	22億75百万円
アタカ工業	24億97百万円

### 何の為の外觀論議

また、最近、私の聞いた情報では、市内の設計士グループの組織「まち研・武雄」に処理場の外觀設計の協力依頼があったと聞く。私が処理場の能力は問題ないことを力説し説得していたら、その後、私に反論してくる人は、デザインすなわち、処理場の外觀について「日本鋼管(NKK)は、ただ箱形でもおもしろみがない、ある程度、高くても外觀の良い方がいい。」など最近では、口うらでも合わせたかのように、処理場の外觀が反論の武器になっていて、私はどうしても、高く入札したい為か？一般競争入札をわざとやりにくくする為の口実づくりに感じる。

私も別に外觀に気をつかうことに異論となえる者ではないが、高値隠しの景観論議に、成ってはならないと思う。それならば、処理設本体と建物の分離発注をして、大手に本体部を競争させて、建物をまち研に設計させ、地元業者に発注すれば良いと確信する。

ただ、処理場の寿命が二十年と言われるし、二十年後は東部開発もあると聞くので、外觀への金のかけかたも、将来を考へての対応が必要だ。私があればこれ言っているが、決定権は処理組合議員である。原・清水・平野・高木・西村の五議員の信念と行動に期待するしかない。市民の注目を。



入札額を公表する議会だより

議会だより  
かしま  
平成8年11月  
第6号

# 特集 国立武雄病院 問題を考える

## 国立武雄病院の沿革

まず、単に歴史を調べると昭和十七年に、佐賀県立結核療養所武雄柏翠荘として起工し、昭和二十年の完成と同時に日本医療団に統合され、戦後も運営を継続。

昭和二十二年、厚生省に移管され国立佐賀療養所武雄分院と改称。昭和二十七年、国立武雄療養所として分離独立した。名称はさらに昭和五十年、厚生省の組織規程の改正で、国立療養所武雄病院として今日に至っている。

## 市及び市議会のこれまでの対応

昭和六十一年の再編成計画が出たから、国立としての存続と拡充を何度となく要望した。

しかし、武雄病院の医療の充実整備が図られないことから、市議会は、このまま国立で存続拡充のみの追求は可能性が少ないとの判断から、平成六年十一月臨時議会で、これまでの「国立としての存続拡充」から「国立にこだわらず、県西部の中核的な医療施設として整備拡充」と方針を転換。これを受けて、市は武雄市地域医療審議会を発足させ、同審議会に諮問。

私は、最近まで武雄療養所と呼ぶことがあったが、歴史を見ると療養所の期間が長く、私が大学生で武雄を出ている時に、武雄病院と名称が変わっていたので、改称に対する切り替えができてなかったのかもしれないと思った。

## 国立武雄病院統廃合問題の年表

S61年	国の医療再編成計画で嬉野との統合対象となる
〃	(武雄病院存続期成会発足)
H6年9月	武雄商工会議所より「国立にこだわらず医療充実」の請願
H6年9月	国立武雄病院を存続させる会より、「国立で存続」の請願
H6年9月	9月定例会市議会にて両請願、ともに継続審議になる。
H6年11月	臨時市議会を開会し「国立に固執せず医療充実」を採択
H7年2月	地域医療審議会発足
(H7年4月)	医療コンサルに調査発注
H8年2月	地域医療審議会は「市立病院として充実整備が適当」を答申
H8年4月	庁内プロジェクトを発足し検討に入る。
H8年11月	庁内プロジェクトが移譲検討報告書を提出

する検査機器で、CTは放射線・MRIは磁気利用で後者が鮮明。

◎国の再編計画と一・二・三次医療

国は、医療費をおさえるため民間や自治体で、できる医療からは、手を引き、難病や高度の医療にわゆる三次医療を担当するため全国約七四の国立病院や療養所を再編する計画を打ち出した。

その再編は、二つの方法があり移譲Ⅱ後の引き受けをさがす統廃合Ⅱ新規か、どちらかに統合武雄病院の場合は、国立嬉野と統廃合で、現実的に考えれば、嬉野に統合されると考える人が多い。

ちなみに、移譲は三四ヶ所、統廃合は四〇ヶ所が上っている。

最後に、一次医療と二次医療を説明すれば、一次は、初期医療及び疾病の予防、健康管理等に対応する医療サービスで市町村の区域二次については、一般の医療需要に対応し、予防、診断治療及びリハビリに至る医療サービスで区域は、地理や生活で関連のある市町村で圏を作り、その中に中核的医療機関があれば良いとして、県内を五分割して、北部・東部・中部・西部・南部と分け、基本的には一般医療は広域圏内で充足していれば良いという考えである。

そこで、平成八年四月に、庁内プロジェクトチーム、古場助役を長として十二名で編成し、整備構想、収支見込み等について検討結果の報告等が、同十一月に提出された。しかし、赤字が多額と予想されるため、市は医療のプロを含めて、さらに詳細に検討するとし、結論をまだ出していない現状。

## 知っておきたい基礎知識

### ◎検査機器CTとMRI

俗に医療設備が整っているかを言う時、CTなどがあるかを一つの判断にする。どちらも、体を輪切りにして細かく影映し患部を発見

を病院といい、それ未満を医院と分類され、医院(診療所)に制限はない。

## コンサルト案と庁内プロジェクト案の計画と収支比較

プロジェクト案		コンサルト案	
一般	105	一般	105
結核	0	結核	25
6億2千万円		(定めていない)	
施設購入額		施設の整備	
総額 22億 - 補助金 3億 = 19億		収入 18億 - 支出 17.7億 = 0.3億円	
収入 15億 - 支出 18億 = △3億円		10年後収支	
なし		福祉保健	
なし		老健及び保健センター併設	

右図は、武雄市地域医療審議会(区長会・婦人会・商工会議所・農協・JC等の組織の代表)が、市立での引き受けを答申された時の参考資料となった、コンサルト案と、今度議員に報告された、庁内プロジェクト案の特に変化のあると私が思う所を簡単に對比し多くの市民にせめて概要だけでもつかんで欲しいと思う。

【病床】結核二五床が無くなったのは、不採算であることと結核は県が県内で統合する計画

【施設購入】これは、国の職員を何人引き受けるかで決まる。

①「1/2以上は無償」②「1/3以上は八割引き」③「1/5未満は五割引き」プロジェクトは③の五割引きが現実的とし

【福祉保健】保健センターや老人保健施設も併設が望ましいが、スペースや経営主体問題で今回併設はしない。

ているが、その理由は、福知山市の例から看護婦さん以外は、ほとんど残らなかった事。また、国の職員の給与や勤務労働条件を補償することが困難とみている。

【施設整備】診療科目を現在の内科・外科・理学(リハビリ)の三科に、小児科と整形外科の二科を加え、総合化する。また、長期の安定経営には、初期投資が必要と判断し、次の内容を整備する。

ただし、整備総額は二十二億円だが国から改修の補助金が三億円あるので十九億円の支出が必要だ。

①病棟を改築し救急・小児・整形の診療科目に対応

②医療機器購入、新規科やCT

③駐車場の用地確保とその整備

④職員宿舎の新築と老朽宿舎解体

⑤ボイラーや汚水処理や倉庫改修

※コンサルも一応、施設八億と機器一億の計九億の提案をしていた。

【十年後の収支】コンサル案では、施設購入六億と施設整備の十九億の計二十五億円の起債を考慮していないが、収支は下の表のようになる。

ただし、起債が認められない二〇%の五億円は市の当初支出と想定。

プロジェクト	(10年後)	コンサルト
収入	13億5,380万円	17億9,446万円
支出	16億9,311万円	17億6,149万円
計	△2億9,340万円	3,297万円

## 市民の質問から答へよう

問：どうせ大金をかけて、市立にするなら、もっと交通の便の良い所に作らないのですか？

答：前述の過剰ベッド地域ですのでも、本来減らすのを、既得権で引きついでいる状態という。

問：南部に、個人の院がどんどん出来、あえて市民病院を赤字出してやる必要があるのか？

答：市内に二四時間救急はないし、手術等の二次医療の病院は、武雄病院がなくなれば手薄だ。

問：再編期間の十年がたったのに対象七四病院のうち十四しか移譲・統合されていないのに何で急いで検討しているのか？

答：計画して、収支等の内容が良ければ、即実行もあるだろうし、以前は早く取り組んだ所に国の手厚い支援があった。しかし、今はないという。

## 市議は今、何してる

議員を集めた、全員協議会で、プロジェクト案の説明を受け、コンサル案が、以前、職員の給料を二割程度低く見積っていたら、三億円ということ、多くの議員が、難しい問題になったと感じたようだ。ただし報告の内容については、詳細に検討してあり、考え方も妥当な計画だと認識している。そこで、今、地域医療調査特別委員会では、全国の病院経営で採算ペースになるには、病床数が一〇六床程度であると言われ、一〇五床では、採算規模でない。そこで、結核病床五五を一般病床に変えるべく、厚生省九州地方医務局や県に陳情を行なった。

# 国立病院問題に対する私の考え

武雄市の財政運営で、投資的に利用される予算が、約八億円と言われ、その三分の一が今まで支出しないで済んでた部門に使うことになるのは大変だ。

特に武雄は、高架、下水道、図書館など多くの未着工の行政需要を処理できないでいる。

私は、この病院問題が、最初から市民論議が十分でなかったことを残念に思う。問題の契機も、商工会議所の請願から、市民医療問題がスタートし、国立病院を存続させる会のビラで内容を知るといってお粗末な状況であったのは市民御存じの通り。

順番は前後するが、多額の支出を必要とする事が分った今日、あらためて、市民の医療ニーズを調査して、どんなサービスをどれだけの人が求めているのかを具体的に整理する必要があるのではなからうか。また、福祉施設との併設が見送られたので、市立でなく、

大学等の公的医療機関の引き受け先を再調査して見る必要もあると思う。ここ一年では国も突然病院を閉鎖することはないと思うので、私が、言いたいことは「あわてるな、本当に必要なならば、時間と金をかけても実施しなければならぬ」という事。

また、今回の報告によれば市立でやるなら、そのままの施設ではだめで、二五億円投資しないといけない。医療収益と交付税を合計すれば、医療支出とほぼ同額だ、そして、赤字の半分が投資金の返済で、半分は退職金積立と減価償却費で泥沼赤字ではないと考えられる。図書館だって設備と図書購入費を年割りにすれば二億円ぐらいは必要だから、市民のニーズや選択の問題という人もいる。ただ、今後調査したいのは、先輩の福知山市や柏市が、すでに経営計画がくわって泥沼化していることだ、

い。では、市はどうして計画を達成しようと考えているか。

【回答主旨】  
これといって、大きな計画はないが、随時努力してゆく。

## 3 観光ビジョン策定の態勢はできたか？

観光ビジョンを契機に  
論議や整備や連携を

市長は私の以前の質問に答え、計画の策定を明言されたが、平成八年度の予算要求が担当課から上げられず、その理由は焔博で人員の態勢が整っていないと言ったことだったが、平成九年度の予算要求にあたり、課の態勢は整ったか？

【回答主旨】  
観光ビジョンの必要性は認めるが、その内容については、まず観光関係者等を集めて論議したい。

# 12月定例議会 12/5～12/20

## 私の一般質問

### 1 行政改革の推進の検討の状況はどうか？

実のある検討ができて  
いるように思えない！

平成七年・八年の二年も時間をかけて検討され、いよいよ九年度は実施の年だ。しかし市民からすれば何ら具体的な動きが見えてこないが、どんな状況か。

【回答主旨】  
潜行しているが、ある日突然出現することもある。と市長お得意の文学的表現で答弁。

### 2 老人福祉ゴールドプランをどう達成？

老人保健施設の設置に  
市はもっと努力必要！

市の老人保健福祉計画は平成元年から十ヶ年計画で、もう残り二、三年しかない。特老・老建・福祉センターの三施設拠点にそれぞれ在宅介護サービスを付加する計画だが、現在、特老御船荘が在宅サービスを行っているが、全計画の三分の一しか達成できていないことになる。

そこで私は、市の直接支出の少ない老人保健施設の設置推進を何度もお願しているが対応がな

### 4 学校配置パソコンの活用は十分か？

再配置の前にもっと  
活用方法を考えて！

市内、小中学校にパソコンが各校五台ずつ配置が一応完了し、来年度よりまた新規に配備して行く予定と聞くが、それ自体に異論はないが、現在の利用は、高学年の算数の図形の一部や、クラブ活動の一部で利用されているだけと思う。特に小学生のパソコン教育の目標は、「慣れ楽しむ」であり、昼休みや放課後の利用ができるよう



### 5 市長の職務について

兼任の職を減らし  
もっと市政に専念を！

行政課題の山積する今日、市長の兼職が多すぎる、市長の仕事は、「車で移動していくら、挨拶していくら」でなく、「考えていくら、決断していくら」でなければならぬと思う。また、各団体が補助金を要求する時に、要求する方も市長、出す方も市長では問題があるので整理すべきだ。

【回答主旨】  
兼任の必要性があつてやっていると、特に行政に支障はない。

【反論】  
行革はまず市長からで、民間でできる事は民間に。が原則だ！

②出張や交際費の内容や成果の明示が必要だ！

新聞の首長の動向で、上京とあり、市民からもっとくわしく書けないか？と言う話しを聞く。

また、市長交際費は何を根拠に多いのか少ないのか判断する材料がない。使用目的の割合だけでも公表できないか？

【回答主旨】  
新聞の件は、スペースや他市とのバランスで、現状どおりでゆく。行く先は議会に報告している。交際費は適正に処理している。



すべきではないか？

【回答主旨】  
現状は、そうである、発言の主旨は今後十分に活かしたい。

## 他議員の質問

Q 学校教育は多様性が求められている。教職員の異業職種体験はどんな状況にあるのか？

A 県内の小中学校の教員の約七％が教職につく前に、民間企業でと就職経験がある。

Q ゴミ出しに伴う、カラスの被害が発生しているが市の対応は？

A まち部では、路上収集となっていて、原則は地元区で対応を。

Q 他市では、老人世帯への宅配給食で、独居老人の栄養・健康管理や愛の一声運動としても効果を上げているが、市の取り組みは。

A 平成九年七月に希望調査をする。

Q 地球のオゾン層の破壊の原因であるフロンガス回収状況は。

A 軒藤クリーンセンターに、回収車をもって、確実に回収済。

Q 飛龍窯への導入路がせまく大型バス等が進入しにくいので道路整備を早急にやるべきだ。

A 道路にそって川があるので、簡単にはいかない。真手野付近の道路改良は焔博に間に合わせた。

Q 成人式の開始時間を午後にして美容室の早期過密労働を軽減できないのか。

A 平成九年は、従来より三〇分遅い。十一時と決めているが、今後については、十分検討する。

Q 成人式の写真代は市の負担で出さないのか。

A 現在、自費や町婦人会からの贈呈など各町で対応が異なっている。市費による負担は考えていない。

Q 武雄川の堤防を活用して、ジョギングコースの整備をしては。

A 武雄川については土木事務所の管理であり、話し合ってみる。

Q 不登校児を適応指導教室を梅林の所で始めたが状況はどうか。

A 予想以上の利用者で役割を果たす。

Q 市道上西山一福和線は幅が狭い。A区での意見の取りまとめ必要。

## 12月補正予算の事業と内容

### 【歳入の状況】

補正額は、二億七千三百万円で補正後の総額は、約一三四億円。(対前年度同期比で一・五%)  
歳入の内訳は、約

法人市民税 六千〇百〇〇万円

国県支出金一億六千九百〇六万円

市債 一千五百五〇万円

基金利子 一千三百九十九万円

その他 一千四百七〇万円

※ちなみに、法人市民税というのは、株式や有限会社などが法人税を払うが、その一四・七％を地方自治体に納める。本店や支店をもつ場合は、その事業所の社員数の割合に応じて納税する。

※基金利子については、一般会計基金約十種、二四億円の利子

【歳出の状況】

〈主なものを説明してゆくと〉

【民生費】

①身体障害者の措置費等の確定で

②乳児及び障害者の医療費の確定

③保育所等の措置費等の確定で

【農林費】

④米の転作推進を図る補助金

⑤麦が長雨で被害を受けた補助金

⑥圃場整備が(武雄南部・川登・橋)地区で完了し追加配分補正

⑦農地を流れる生活排水を分離し簡易に水浄化する事業の補正

⑧農山漁村高齢者いきがい事業を利用し、若木の中山に集会所

【土木費】

⑨市道の防災点検の委託料の追加

【教育費】

⑩西川登小の体育館の解体費用

⑪武中給食室等の宮繕工事他

⑫文化会館の空調機能診断委託料

【各事業の支出金額(単位万円)】

①九七八 ②一三八五③一〇八六

④一六八一⑤六一六 ⑥三八九〇

⑦一一一四⑧一六一六⑨八八八

⑩五〇〇 ⑪六六〇 ⑫七五

# 土地売却の代金で

## 水道公園整備

### 吉か凶か

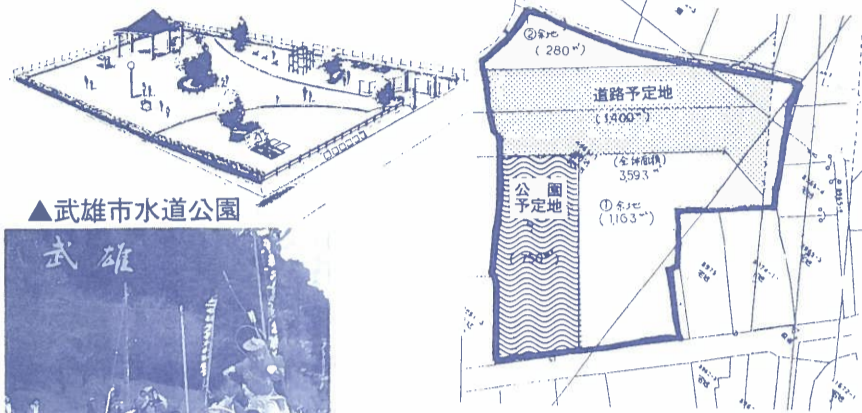
水道事業会計の補正予算案に反対した。反対した議員は、宮本・牟田・高木・平野の四人。

その反対した、内容と論点を説明して行く。八並の水源地跡の水道公園にからむ支出や土地売却に、関係してである。公園そのものの必要性は替否論論あって良いと思うが、行革の中で企業会計を自立させるとして、値上げした途端に、市内拡張工事はまだ完了してないこの時期に一般会計でなく、我々の水道使用料から集めた水道会計から、なぜ支出せねばならないのか？

凶面を見ても、ほとんど一般の公園と同じであり、本来行政の公園政策の中ですべき内容だ。また、この計画が値上げ前だったら出てなかったと言う人も多く、あまりにもばかにした話だ。そこで、市は、水道利用者に負担をかけないよう水道公園の周辺の土地を売却して、公園整備代金を作るからと、市民に配慮したような答えをされる。

ところがどっこい。その土地は水道会計の資産であって、何ら現金とは変らないし、やり方によっては、現金以上の含み資産価値があるかもしれない。

また、その土地の売却も間がぬけている。その土地をかすめて県道が通り値上りが目前の土地を土地開発公社に売ること水道会計は損する。また、一番広い千四百平米は、三十年も進んでいない水道予定地で、買った開発公社も場合によっては、長期に銀行金利を払いつづければならない可能性もある。たとえ、将来市道になっても、開発公社がたっぷり支払っ



▲武雄市水道公園



▲記念品のふるさと歴史散歩



▲成人式

祝 成人式復活  
教育長も笑顔

昨年の成人式は、すごかった。新成人約五百人、半分は会場の外、あと半分は会場に入ったものの、始めから終りまで挨拶があるが、途中退席や私語で話も聞きとれないぐらいで、最後には、司会者が説教する始末。私は、成人式も存亡の危機にある感じで、形どおりの挨拶ばかりとはいえず、現代の若者の道徳心のなさが原因と思っていた。

今年、教育委員会の生涯学習課が、改革の第一歩として、新成人に企画や進行を中心になって行ってもらう方法を取った。これが、見事に大成功！その改革のどの点が効力を強く発揮したが定かではないが、

- ①新成人の席が、まえ半分に結集されて、舞台に接近した。
  - ②番号指定席だったのが、自由席になり、友人と相席が可能に。
  - ③司会やナレーターを新成人が担当し、会場との一体化があった。
  - ④小中学校のスライドを地区別に映写し、子供から二十を実感。
  - ⑤塚崎太鼓が、オープニングになり、新成人の中心が増した。
  - ⑥挨拶が多少すくなくなった。
- 以上、私が気づいた所だったが、祝う側と祝われる側の願いや気持ちを通じれば成功することを見せてもらった。武雄市政についても市民と行政が心から信頼できる政治にしなければと思った。

## 新年の公開初め 行政視察のいろは

議員さんの観光旅行じゃなかねと、市民の方に冗談とも本気ともつかぬ言葉をかけられることがある。どこかの町では、オーストラリア農業視察が、町民からのクレームにより、中止になったとのテレビ報道があった。

この市民の理解が十分でない、行政視察は大なり小なり各自自治体の議会には絶対あると思う。

このように、色眼鏡で見られるのも、その視察の目的や結果報告が十分に市民に伝わっていないからと思われる。ちなみに、武雄市議会の行政視察のシステムは、次のようになってはいる。視察費にあたる旅費は、予算約一千万円。

	1人当り	総額	備考
常任委員会	10万円	300万円	東北泊3日程度
特別委員会	7.5万円	217.5万円	東京泊3日程度
会派	3万円	78万円	
議会運営委員会	8万円	80万円	
海外研修	50万円	150万円	年間3人分

一人の議員は、年間三回行く。常任委員会(総務・厚生・産業・建設)特別委員会(高架・医療・常水)会派(フォーラム武雄ほか七会派)以上、全議員が所属する、二委員会と会派の視察が基本的な形だ。

あと、議会運営委員会に会派より出向する議員は、計四回となる。さらに、当選三期以上が十二名いて、年に三人ずつ海外視察に行かれてはいる。これについては、議会で慣例ということだが、市民から代理を付託されるのは四年間を単位とするのだから、私は検討の余地があると思っている。

話をもどすが、視察地については、その委員会が論議している問題の先進地とその近隣を二泊三日で視察するのが基本である。

私の体験内では、視察については、内容や行き先など充実していると思うし、公費で宴会などやることなど勿論ない。

ただ、武雄市議会は、一般質問のテレビ放映があるため、「議会だより」が発行されていない。発行

している市は、その中心が一般質問・委員会報告・視察報告の三本柱なので、ある程度市民の理解もあるのでは？逆にいえば、武雄は、委員会報告と視察報告をTCVを使ってやるか、その二つの報告会を開くか、書面で配付する必要があるのかもしれない。

視察から帰れば、復命書(報告書)を各委員会より議長に提出してあるようだが、ただ委員長が責任をもって書くかの規則等は無く、時には随行した職員が整理するところもあるらしい。市の代表として視察している観点から、勉強したポイントだけでも、他の議員や市民に伝えなければと思う。

具体的な予算割りふりについては別表を参考にしてください。

ただ表の総額合計は約八四〇万円、残りの一四〇万円は、議長陳情や会合出席の為の旅費が中心とした支出である。

今回は、各委員会等の視察先や内容を伝え、反対に武雄にどんな自治体から、何を調査に来られたかも連載したいと考えている。



上が市がつけたもの 下がS氏の作品

## 編集後記と 今後のプラン

この栄八通信は、議会の翌月の十五日間で作るのだが、今回正月行事や消防出初式の後カゼをひいたりして、時間がなくて企画や調査がいまいちで、申しわけありません。どうか現状を伝えることはできたと思います。また、今回書けなかったのですが、高架区画問題も県の協力を得て、七・七ha分割実施案を国と調整中であり、図書館問題も各コーナーの案や広さの原案が出て、これから市民の声も具体的に取入れられると思います。今後は、私がどの事業をどう考えているかを伝えたい。

おわび 前回、富永議員が日本鋼管が良いとの発言があったと記していましたが、私の聞き違いでしたので、心よりおわびします。

## 飛龍窯案内看板記事 間違いですみません。

前回、このコーナーで、金をかけずに観光案内看板を作った行政の頭と機動力を賞賛する主旨の文を書いていた。前回の通信の発行日、朝から電話が複数の市民からあり、あの看板は温泉通りのS商店の方が、観光客から飛龍窯の道をたずねられて、説明が難しかったので、ボランティアで作成されたと言ったことであった。

森博推進室でも、ちょうどその時期に手作り看板を設置すると報告を受けていたので、カンバン違いのカンバンだったので、ここであらためて、S氏の奉仕に感謝するとともに、観光も行政と市民の意志疎通の大切さを痛感した。